

Aコース 新吉田の緑と古刹めぐり

約3.3km



1 浄泉寺

新吉田東3-28-32

浄土宗の寺院で清涼山法院界淨泉寺。文禄2年(1593年)開創。本尊は阿弥陀如来像です。昭和48年(1973年)に本堂再建、昭和63年(1988年)本堂増築と客殿が新築されました。

2 圓應寺

新吉田町4098

真言宗の寺院で海照山圓應寺。開山開基は不明。本尊は千手觀世音菩薩です。毎年10月に、古式にのっとって行われる“火渡り儀式”は、横浜市無形民俗文化財・認定団体です。旧小机領第十三番札所です。

3 吉田杉山神社

新吉田町4509

創建年代は不詳。「武藏国都筑郡杉山神社」は平安時代の延長5年(927年)、「延喜式神名帳」に記載されている式内社です。江戸幕府が編纂した「新編武藏風土記稿」に記録されている73社の杉山神社の中で、当社は有力候補の一つです。

4 御靈堂跡

新吉田町80

永保3年(1083年)～寛治元年(1087年)の後三年の役で負傷し、この地で亡くなった鎌倉五郎景政の御靈と、持仏の十一面觀世音菩薩を祀り、延元年(1336年)にお堂を建てた跡地です。本尊十一面觀世音菩薩、閻魔大王、葬頭河婆は、平成20年(2008年)の子年観音開帳に合わせて正福寺領内へ移されました。

5 正福寺

新吉田町4569

天台宗の寺院で星宿山千手院正福寺。寺伝由緒はたびたびの火災で不明です。平成18年(2006年)、新本堂再建時に本尊の木像釈迦如來坐像を修復した所、貞享3年(1686年)に書かれた木札が発見され、新本堂が320年ぶりに再建されたことが判明しました。



Cコース 岸根から篠原へ歴史を訪ねて

約5.8km

1 岸根公園

岸根町725

港北区のはば南端、神奈川区と接する位置にあり広さ約14ha。戦時中は陸軍の高射砲陣地が置かれ、戦後はしばらく米軍に接収されました。昭和48年(1973年)に返還され、その後整備し現在に至っています。横浜緋桜も植樹されています。

2 貴雲寺

岸根町614

曹洞宗の寺で山号は岸雲山貴雲寺。慶長3年(1598年)、玄室宗頼により開山創建されました。本尊は薬師淨瑠璃光如來坐像。武南十二薬師靈場第一番札所となっており、12年ごとの寅年に御開帳されます。

3 岸根杉山神社

岸根町377

大永5年(1525年)、伊豆の国の住人岩田五郎衛門が当地に移住した際に、鎮守として創建されました。祭神は五十猛命、大山祇命です。

4 東林寺

篠原町1252

曹洞宗の寺で、山号は天宗東林寺。創建は建治元年(1275年)です。元は真言宗の寺でしたが、火災で消失し明応5年(1496年)に、楞山周厳和尚により再建され、その時曹洞宗に改め現在に至っています。本尊は十一面觀世音菩薩です。

5 篠原八幡神社

篠原町2735

建久3年(1192年)、鈴木村の鎮守として同村会下谷に勧請奉斎し、鶴崎八幡と称しました。寛永8年(1631年)、同村宇表谷に社殿を建立し奉遷。寛文7年(1667年)社殿を再建し、若宮八幡と称しました。祭神は応神天皇です。

6 觀音寺

篠原町2777

真言宗智山派の寺で山号は八幡山觀音寺。天正年間(1573~91年)に、祐覚和尚によって開基されたとの寺伝があります。隣接する篠原八幡宮の別当寺としての歴史から推察すると、寺歴は更に遡るのはないかと言われています。本尊は坐像の十一面觀世音菩薩です。

7 長福寺

篠原町2754

真言宗大覚寺派の寺で山号は本願山長福寺。創建年代は不明ですが、慶長16年(1614年)に再興したとあります。本尊は薬師如来で武南十二薬師八番札所です。金子氏の氏寺で、古くは三會寺の末であったと言われています。

8 篠原城址緑地

篠原町2757

創建年代は不明ですが、別名「金子城」とも呼ばれ、城主は小机城の篠原代官金子出雲と言われています。太田道灌が小机城を攻めた文明10年(1478年)には、すでに小机城の出城としてあったのではないかと言われています。



Bコース 大倉山から自然と芸術を求めて新横浜へ

約6.0km

1 大倉山記念館

大倉山2-10-1

昭和7年(1932年)大倉邦彦が大蔵精神文化研究所として建設。横浜市有形文化財に指定されており、ギリシャ神殿風の外観や神社建築の木組みを用いたホールなど、見どころが多くあります。

2 大倉山公園梅林

大倉山2-10

昭和6年(1931年)、東京急行電鉄が梅林として公開。その後横浜市が取得。施設を整備し、平成元年(1989年)に大倉山公園の一部として開園。約46種、220本の紅・白梅があり、春には観梅会が開催されます。

3 歓成院

大倉山2-8-7

高野山真言宗の寺院で、妙智山法華寺歡成院。室町時代の永禄3年(1560年)善通院により開創されました。本尊は十一面觀世音菩薩像で、鎌倉期の運慶作と伝り、旧小机領十三十三觀音靈場巡りの十二番札所、子年開帳です。左奥に見える客殿は隈研吾氏の監理設計です。楠、銀杏、椿は横浜市の名木古木となっています。

4 太尾神社

大倉山2-16-1

大倉山には江戸期に鎮守様が6社あり、当地には杉山神社がありました。昭和33年(1958年)に村社の神明社に他5社を合祀し、杉山神社の地へ移転、社名を太尾神社と改称。その後は氏子地域の発展に伴い社殿を修築、社務所等の施設が完備されました。祭神は天照大神。菅原道公真公を始め、七柱の神様が祀られています。

5 太尾堤緑道

大倉山7-40-1

鳥山川を埋め立てた後に、南北1.2kmの緑道を整備しました。この付近が徳川将軍家の鷹の調教等を行なう“捉飼場”でした。平成元年(1989年)に開催された、第一回横浜影刻展(ヨコハマビエンナーレ'89)で、緑道をイメージして制作された受賞作品8点を設置しています。ソメイヨシノ、八重桜、ジンダイアケボノなどの桜並木があり、春にはお花見も楽しめます。

6 太尾公園・太尾南公園

大倉山7-40-1

港北水再生センターの下水処理場の屋上に造られた人工の公園です。太尾公園は平成元年(1989年)に、地域住民のスポーツの活動拠点として整備され、定期的にブレイバーグも開催されています。鶴見川側、太尾堤緑道側、どちらからも入ることができます。太尾南公園は平成11年(1999年)に造られ、再生水のせせらぎと池があり、魚がいてカモもやって来ます。太尾堤緑道側から入りますが、エレベーターが設置されています。

7 横浜アリーナ

新横浜3-10

平成元年(1989年)に横浜市政100周年記念施設として開業。収容は17,000人で、日本で初めてアリーナの名前が付けられた多目的イベントホールとして、コンサートやスポーツイベント等が開催されています。日本建築業協会賞を平成2年(1990年)に受賞し、「音響家が選ぶ優良ホール100選」にも選ばれました。平成28年(2016年)にリニューアルオープンしました。



8 新横浜駅前公園

新横浜1-16-1

※全体のコースマップは全域MAPを参照

約16.5km

Dコース 横浜七福神めぐり

約16.5km

横浜七福神巡り



1 興禪寺

高田町1799(高田駅から徒歩約12分)

天台宗の寺院で、圓龕山光明院興禪寺。仁寿3年(853年)に慈覺大師が開山。七福神の「福祿寿」を祀っています。「福祿寿」は、幸福・俸祿(給与)・長寿を授けてくれます。杖を持ち、長いひげが特徴です。

2 金蔵寺

日吉本町2-41-2(日吉本町駅から徒歩約5分)

天台宗の寺院で、清林山佛乘院金蔵寺。平安時代初期に智証大師が開山。七福神の「寿老神」を祀っています。「寿老神」は、長寿・病氣平癒を授けてくれます。長いひげが特徴で、巻物をくくった杖を持っています。

3 東照寺

綱島西1-13-5(綱島駅から徒歩約3分)

曹洞宗の寺院で、綱島山東照寺。慶安2年(1649年)に生外意鉄大和尚が開山。七福神の「布袋尊」を祀っています。「布袋尊」は、平和・安穏・家庭隆盛を授けてくれます。大きな腹と大きな袋を持っているのが特徴です。

4 西方寺

新羽町2586(新羽駅から徒歩約7分)

曹洞宗の寺院で、補陀洛山安養院西方寺。建久元年(1190年)に鎌倉目に開山。七福神の「恵比寿大神」を祀っています。「恵比寿大神」は、大漁・商売繁盛・旅行の安全を授けてくれます。唯一日本の神様で、烏帽子をかぶり、釣竿や大きな鯛を抱えるのが特徴です。

5 正覚院

大豆戸町1160(新横浜駅から徒歩約8分)

曹洞宗の寺院で、大豆戸山正覚院。天正元年(1573年)に暁元龍大和尚が開山。七福神の「大黒天」を祀っています。「大黒天」は、商売繁盛・家庭繁盛を授けてくれます。小槌を持ち、大きな袋を背中に抱え米俵に乗っているのが特徴です。

6 蓮勝寺

菊名5-4-40(菊名駅から徒歩約4分)

浄土宗の寺院で、菊名山蓮勝寺。正和4年(1315年)に浄土宗第五祖蓮勝上人が創建。七福神の「鹿沙門天王」を祀っています。「鹿沙門天王」は、厄除け開運・家内安全・悪霊を退散させて財宝を授けてくれます。甲冑を着け怒りの形相で、鉾を持っているのが特徴です。

7 菊名寺弁財天

菊名原町1-8-1(妙蓮寺駅から徒歩約3分)

元は妙蓮寺の境外社でした。社殿は祭りの山車を転用したもの。七福神の「弁財天」を祀っています。「弁財天」は、唯一女性の神であり音楽・学業全般・財産授与を授けてくれます。一般的には琵琶を持っていますが、ここは右手に剣、左手には宝玉を持っています。

